01. フィブロスキャン検査結果スコアシート

フィブロスキャン検査とは？



検査イメージ

フィブロスキャン検査とは「肝臓の硬さ」と「肝脂肪量」の度合いを測定するフランス生まれの検査方法です。測定結果が数値で表示されるため、治療前後の数値を比較し病態が改善されているかどうかといった評価に用いることができます。

検査は右脇腹にあてたプローブから振動と超音波を送り、肝臓の硬さと脂肪量を測定していきます。

測定時間は 1〜5 分程度で軽くトントンと叩かれるような軽い振動を感じるだけで痛みや出血の心配はありません。

フィブロスキャン検査の測定項目

CAP

肝臓の脂肪量
がわかります

- 肝臓の脂肪量の度合いを示しています
- 脂肪肝の検査として有用です



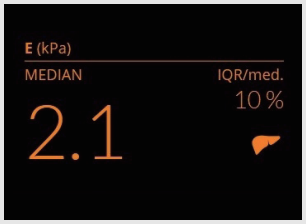
検査結果イメージ

結果はdB/mで表示
(デシベルパーメーター)

E

肝臓の硬さ
がわかります

- 肝臓の硬さの度合いを示しています
- 肝疾患進展度や肝硬変の検査として有用です



検査結果イメージ

結果は kPaで表示
(キロパスカル)

02. フィブロスキャン 検査結果スコアシート

検査日： 年 月 日	氏名：	体重： kg

CAP 肝脂肪量

dB/m

E 肝硬度

kPa

※ E 値は肝臓の炎症や心不全、その他の影響を受けます

S3	高度脂肪化 280dB/m~	高度の脂肪肝の可能性あり
S2	中等度脂肪化 ~280dB/m	中等度の脂肪肝の可能性あり
S1	軽度脂肪化 ~268dB/m	軽度の脂肪肝の可能性あり
S0	正常 ~248dB/m	正常な肝臓

F4	肝硬変 13.6kPa~	肝硬変の可能性あり
F3	高度線維化 ~13.6kPa	肝硬変の一歩手前まで線維化が進んでいる可能性あり
F2	中等度線維化 ~9.7kPa	肝臓が炎症している、もしくは線維化が中程度まで進んでいる可能性あり
F0-1	正常 / 軽度線維化 ~8.2kPa	正常な肝臓もしくは軽度な線維化・炎症の可能性あり



基準値は参考値です。疾患により基準値が異なりますので、詳しくは受診した施設へお尋ねください。
また食事や肥満、その他の影響で数値が高値となる場合もあります。